

羽島市ではご登録いただきました「羽島市防災コーディネーター」の皆様への情報提供のためニュースレターを発行しております。

はじめに

近年、記録的な台風や豪雨による災害により、全国各地で甚大な被害が発生しています。

幸いにも本市においては大きな災害等は発生していませんが、県内では大雨特別警報が発令され、令和2年7月豪雨においては、飛騨川が氾濫するなど毎年集中豪雨が発生しています。

また、昨年8月5日には本市と友好提携を結んでいる「福井県南越前町」において、大雨の影響により河川氾濫や土砂災害が発生し、大きな被害が出ました。

本市も木曽川、長良川、境川などの一級河川に囲まれ、水害リスクについて市民が意識し、平時からの防災対策、災害時の的確な避難行動が大切です。



<福井県南越前町の被災時の様子>

市総合防災訓練

令和4年6月26日（日）午前7時から、市総合防災訓練を開催しました。

今年度は、市全域でシェイクアウト訓練、『無事ですタオル運動』を実施しました。



その後、南部地域会場の堀津小学校、中島小学校、中島中学校、桑原学園では地元の市民の方にご参加いただき、避難所開設訓練を実施しました。



<避難所開設訓練の様子>

市防災研究会の方には、事前研修やフォローアップ研修を受けていただき、当日、各会場でパーティションや携帯トイレなど倉庫に備蓄されている資機材の使い方や避難所運営の心得などの説明にご協力いただきました。暑い中、皆様のご協力に感謝申し上げます。

自主防災組織リーダー研修会

令和4年8月27日（日）午後6時30分から、不二羽島文化センター（みのぎくホール）において、本市と岐阜県共催による「自主防災組織リーダー研修会」を開催し、各地区の皆様にご参加いただきました。

本研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度・3年度は中止となっておりましたので、3年ぶりの開催となりました。



<演題「自主防災組織の役割と地区防災計画」>

当日は、岐阜大学地域減災研究センター特任准教授の村岡治道氏による、演題「自主防災組織の役割と地区防災計画」の講演が行われました。

“危険な状況になり、「脱出」せざるを得なくなったことを「避難」と勘違いしている人が多いが、危険な状況になる前に安全に「避難を開始」し、「避難を完了」することが重要である。また、大規模広域災害等に備え、自助・共助の役割の重要性が高まってきており、全国で地区防災計画の取組が進んできている。各地区で事前に「地区防災計画」を策定しておくことで、「地区の特性を踏まえた実践的な対応」ができる”とのことでした。

被災地支援（福井県南越前町）

令和4年8月に北陸地方を中心とした豪雨により、本市と姉妹友好提携を締結している「福井県南越前町」が甚大な被害を受けました。

市では、市民の方や団体、市職員等から多くの寄附をいただき、市長が南越前町長へ直接贈呈を行いました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



国際クラブ



竹鼻町自治会



職員労働組合・職員互助会



福寿町自治会・社協福寿支部

防災コーディネーター・フォローアップ研修会

令和5年3月11日（土）午後2時30分から市福祉ふれあい会館（地域ふれあいスペース）において、本市と岐阜県共催による「防災じぶんごとワークショップ」を開催し、多くの市防災コーディネーターの方にご参加いただきました。

当日は、岐阜大学地域減災研究センター特任准教授の村岡治道氏による、演題「防災基本条例（仮称）の制定に向けて」のワークショップが行われました。



<防災じぶんごとワークショップ>

出前講座（啓発活動）

市が実施している出前講座（生涯学習課担当）メニュー内に「防災を学ぼう！」を設け、職員が講師となり、防災に関する講座を実施しました。

R4年4月	21日	正木町大浦福祉会
5月	25日	竹鼻コミュニケーションター運営委員会
7月	3日	正木小学校区子供会
8月	24日	福寿町間島ふれあいサロン
9月	8日	足近小学校
9月	11日	江吉良・舟橋町自治会 市医師会
10月	2日	上中町午北区自治会
10月	13日	中央小学校
11月	24日	桑原学園
11月	26日	日中活動支援センター
11月	27日	小熊町新生町
R5年1月	20日	小熊小学校
2月	15日	竹鼻中学校
2月	22日	夢かけ工房羽島
3月	5日	下中町石田区自治会
3月	6日	堀津町須賀第一サロン会
3月	12日	小熊町新生町

<令和4年度実績 令和5年3月13日時点>

小熊町新生町地区防災計画

市内では、平成27年度に「竹鼻南地区」、令和3年度に「正木町須賀地区」において地区防災計画が策定されております。

「小熊町新生町」では、令和3年度から検討を開始する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりワークショップ等が延期となり、1年遅れましたが、令和5年2月20日（月）の市防災会議において、市地域防災計画へ掲載されることとなりました。



【特色】

- ① 自治会組織内に防災組織を設置
- ② 独居老人世帯などの家具転倒防止措置を実施
- ③ 老人クラブ、交通安全協会、各サークル等を通じた啓発活動

防災士登録と補助金手続きをお忘れなく

今年度「清流の国ぎふ防災リーダー育成講座」等を通じて、防災士試験に合格された方は、日本防災士機構へ登録手続きを早めに行ってください。

また、先般ご案内を郵送しておりますが、市内在住で申請された方は、受験費用の補助金の手続きもお願いします。

市防災研究会の主な活動

◇総会

令和4年4月10日（日）、市福祉ふれあい会館（地域ふれあいスペース）において、総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度・3年度は書面総会としましたので、対面での開催は3年ぶりとなりました。



◇丸山ダム視察

令和4年7月26日（火）、岐阜県八百津町にある丸山ダムを視察しました。

国交省新丸山ダム工事事務所に到着後、職員の方から丸山ダムの概要・機能と新丸山ダムの建設目的や洪水対策などについて講義を受けました。



その後、丸山ダムの全景が見られる『まるっとテラス』に移動し、全体像を見学。更に左岸にある新丸山ダム本体工事現場へ移動し、工事の状況などの説明を受けました。

最後に山の上にある『杉原千畝記念館』に行き館長から杉原千畝氏の業績の説明を受けました。

◇防災講演会「羽島市の水道」

令和4年11月20日（日）、羽島市役所情報・防災庁舎2階の会議室で研修会を開催しました。



今回のテーマは『水道』で、市上下水道部工務課職員の方に講師を依頼し、市内の上水道の概要と災害時の給水体制などについて詳しく解説してもらいました。また、実際に給水車を駐車場に停めて、災害時の給水方法などを体験しました。

◇ピクニック日和

令和4年11月6日（日）、木曾川堤外にある国営木曾三川公園桜堤サブセンターにおいて国土交通省主催の『ピクニック日和』というイベントが開催されました。研究会も出展を依頼され、車中泊などの防災の心がけなどを展示説明しました。

また、ファイアースターターなどで火を起こすという体験を子どもたちにもしてもらい、行列ができるほどの人気コーナーとなりました。



◇その他の活動実績

令和4年度に市内で行われた防災イベント等で研究会の会員が活躍したものの一部を紹介します。

R4年5月	22日	市総合防災訓練事前説明会 竹鼻南地区防災訓練
6月	12日	市総合防災訓練フォローアップ研修
6月	26日	市総合防災訓練 正木町森区防災講座
7月	3日	正木子ども会「防災教室」
7月	31日	女性部防災講演会
9月	11日	江吉良舟橋防災訓練
10月	23日	竹鼻防災スポーツフェス
11月	24日	桑原学園防災訓練
11月	27日	小熊町防災訓練 正木町新井区防災講座
R5年2月	5日	防災講演会「気象情報・風水害」
2月	26日	「まさき夢まつり」防災コーナー

詳しくは、<https://hashima-bousai.blogspot.jp/>



<桑原学園での地震体験車>

令和5年度の主な事業（市）

◇防災基本条例（仮）の制定

市民一人ひとりが主体的に命を守る行動を、ワークショップ等を通じて取りまとめ、防災基本条例（仮）の制定に向けた取組を始めます。



具体的なスケジュール等については、決定次第、市広報誌や市ホームページ等にてお知らせさせていただきますが、令和6年4月からの施行を目指し、進めていきたいと考えております。

条例（案）の作成にあたり、各地域でのワークショップや出前講座等を通じ、広く市民の皆様からご意見をいただき、その意見を踏まえた条例（案）を策定し、パブリックコメントや市防災会議を経て、条例（案）を市議会へ上程していきたいと考えております。



条例（案）の作成にあたり、各地域でのワークショップや出前講座等を通じ、広く市民の皆様からご意見をいただき、その意見を踏まえた条例（案）を策定し、パブリックコメントや市防災会議を経て、条例（案）を市議会へ上程していきたいと考えております。

◇地区防災計画の策定支援

実際に地区に住み、地区の特性をよく知っている住民の方々が、作成に向け、課題を共有し、話し合いを行うことが、いざという時の地域の中での助け合いに繋がるものと考えられています。



地区防災計画は、市が作成について要請して取り組んでいただくものではなく、地区住民の方に自発的に作成いただくボトムアップ型の計画です。

そのため、市では令和4年3月に「地区防災計画作成の手引き」を作成し、市ホームページに公開しております。また、計画作成を検討している地区には、出前講座の開催による防災意識の醸成や、職員の派遣による作成補助など、各地区の計画作成に向けた取組への支援をしています。

◇内水ハザードマップの作成

令和3年7月の水防法改正に伴い、令和7年度までに雨水出水浸水想定区域の指定をするため、令和5年度は、施設情報の整理、解析範囲、解析手法などの基本方針を検討し、策定します。

策定した基本方針に基づき、令和6年度・7年度に調査、測量、浸水解析及び浸水想定区域を指定し、令和8年度に内水ハザードマップを作成する予定です。



◇市総合防災訓練

令和5年度は、11月5日（日）に北部地域会場の足近小学校、小熊小学校、正木小学校、羽島中学校にて訓練を実施します。

訓練内容等については、決定次第、市広報誌や市ホームページ等にてお知らせさせていただきますが、予定しております。

市では、市防災コーディネーター、市防災研究会の皆様と連携し訓練を実施する予定をしており、9月に今年度同様の事前研修やフォローアップ研修を実施する予定をしております。

最後に

岐阜県では、令和5年度、新たに地区防災計画や個別避難計画、避難確保計画等の作成に関する防災講座、ワークショップ、訓練等への講師派遣等による支援や女性の視点等を踏まえた避難所整備費用の助成が検討されております。市は引き続き県と協力し効果的な事業実施に努めていきます。

また、市では、今後とも市防災コーディネーター、市防災研究会の皆様と連携し、地区防災計画作成支援や防災啓発等について取り組んでいきたいと考えております。引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



羽島市防災研究会 事務局

市防災研究会は、市防災コーディネーター登録者の有志が集まり、平成27年4月に設立されたボランティア団体です。事務局から会員への連絡は全てメールでお送りしています。まだアドレスを登録していない方は、このアドレス宛にお名前を明記してお送り下さい。受信しましたら事務局からご返信いたします。

メール：office@monja.info

HP：[羽島市防災研究会](http://www.city.hashima.lg.jp)

羽島市役所 市長室危機管理課(情報・防災庁舎1階)

電話：058-392-9915

メール：kiki@city.hashima.lg.jp